てんぐ新聞

'12.11.No185
発行 市岡自治会
℡083-88-5292

時の流れが早く感じる

秋に想ふこと

早くも二〇一二年もあと二ヶ月になりました。月日の経つのが早く感じます。ようやくと言うべきか、早くもと言うべきか、十月で、母が生きた年月を自分も生きてきて、母より長生きをしています。長いという感じがしません。いつの間にかその時が来たという印象。その時代を夢中で生きて来に結果、今日をむかえた印象が強いです。

ふる里祖谷に帰って十八年目を終えようとしてますが、U ターンした時は、特別何かをする目標もなく暮らしはじめ、田舎を楽しんでる内に、便利さを求めず不便を楽しむすべが身につき、田舎、山村暮らしの楽しさ、面白さに気がつきました。

母がまだ元気な時は、田、畑が多く残って娯楽よりも仕事の時代。父よりもよく働いていた印象が強く残っている。その田畑は、今や杉林になってしまって、風景は様変わり。という事は、生態系も大きく変化しているけれど、老高に叫ぶ者もいません。そんな杉林中心の祖谷になっても面白い。田畑がなくなり、苦労する農作業中心の生活をすることがないから面白い人と言

失くしたのは、父や母だけでなく、友人とも別れてしまいました。帰省のゆでも、年上の人ばかりでなく、私の胸の中では生きる事。ました。父と母と同じ様に、多くの物が失くなっていく山村に人が住みはじめてから、代々田畑だけでなく、家々をはじめ多くの物。

ここ数十年で失くした物は多々と察きあげてきた物。とりもどす事がお金をおっても、とりもどす事が出来ません。

時代の流れとして、受け入れるしかありません。

過ぎさってしまった時代にはもどれないのだから、これからえ、自分はどう生きるのか、どんな時代を生きるのか、どうする事も出来ず、今までの生き方の様に生きるしかありません。

多くの物を失っても、幸せを感じています。人生、悪くないなあ！、一人暮らしでも孤独感は感じません。

欲しいものも、特別ありません。

いつの間にか、足ることも知りました。

たゞ、冬になりはじめると活動が鈍くなってまって、冬眠をしめるだけです。元気なら、また楽しい春を迎えれますのちょっと気になるのは、保険証の色が変わったり、介護保証が送られてまって、まわりから「老人」あつかいをしてくるのゞ、少しずつ気持の変化が出てくるのではという事で秋を深まり、風向きが変わると、こんな事を想う日々です。

やっぱり楽しく、面白く生きる事を考えるべきだと思います。

剣山遭難

登山道もしっかり整備、別れ道には看板もちゃんと設置されてる剣山で遭難。どうくる!!という気持ですが、山はどこでも山のような自然場）遭難するリスクをともなうものです。だから、自然に仕業がきれいだからと、公園に出かける気持ではいけませんよ。それにつけても、この所、山の事故が多すぎます。